

支援プログラム

法人（事業所） 理念		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの将来の自立に向けた発達支援を行います ・家族を含めたトータルな支援を行います ・子どものライフステージに応じた一貫した支援を行います 	
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちにとって「楽しい」「学びやすい」「わかりやすい」療育を提供するために、①同じ年代の子と活動や遊びを楽しめる環境づくり、②活動や遊びのルール、友達とのかかわり方について学びやすい環境づくり、③一人ひとりに合わせた適切な支援やかかわりができる環境づくりを意識し、発達段階に応じた個別指導、集団生活への適応力を高め、基本的な人間形成を図るための集団活動、季節に応じた行事活動等を設定し、発達を促す上で必要な支援を行います。 	
営業時間	8時30分 ～ 17時30分	送迎実施の有無	あり
[支援内容]			
本人支援	認知 ・ 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが見通しを持って過ごせるよう個別のスケジュールを使って予定確認を行います。 ・自分でスケジュールを確認して行動することができるようトラジッションカードを活用します。 ・活動や行動の切り替えについては、活動前に時間や次の予定等を確認したり、タイムタイマーの使用、活動終了前には「あと〇〇分で終わりです」など予告し、スムーズに切り替えられるよう支援します。 ・活動の変更や相談については、個別スケジュールをもとに文字やカードを使って子どもがわかる形でやりとりします。 	
	言語 ・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉によるコミュニケーションだけでなく、子どもの特徴や特性に合わせて、視覚的なツールを活用します。 ・様々な場面で「わかる」「伝わる」を意識し、相互のコミュニケーション（やりとり）につながるよう支援します。 	
	人間関係 ・ 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動前に遊び方をはじめ、ルールやマナーを視覚的なツール（文字やイラストなど）を使って確認したり、わかりやすく説明します。 ・気になる言動については、その場面の振り返りを行い、正しい方法について一緒に考えたり、その後の行動等について相談します。 ・他者とのやりとりでよかった行動（順番を譲る、相手の気持ちを確かめる、お礼を伝える、謝る、我慢するなど）については褒めたり、認めることで成功体験につなげ、自己肯定感が高まるよう支援します。 	
	運動 ・ 感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスをとったり、ダイナミックに身体を動かす「粗大運動」、手や指、道具を使った「微細運動」、視覚、聴覚、触覚などの感覚刺激を感じる「感覚運動遊び」など、様々な活動を取り入れます。 ・職員が支援方法や観察のポイントが統一できるよう、活動に合わせて「ねらい」を設定します。 ・作業療法士による専門的な支援を行い、日常生活動作（姿勢、バランス、マッサージ、手指や道具の使い方など）が向上するよう支援します。その内容を普段の活動の中で継続的に実施することで更なる向上につなげます。 	
	健康 ・ 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事を通して季節の移り変わり（変化）を楽しんだり、他者との協調性が高められるような活動内容、環境づくりを行います。 ・日常生活で必要な動作（着替え、トイレ、片付けなど）について、現在の状態を把握しながら、自立して取り組めるよう支援します。 ・自分の体調や気分について視覚的なツール（体調確認ボード等）を活用し、正しく伝えられるよう支援します。 ・必要に応じて、日常生活の様子、睡眠、服薬、医療機関受診等の情報について保護者、関係機関と情報共有し、子どもの状態に合わせた支援を行います。 	
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長や発達に関すること、生活する中で感じる保護者の悩みや不安に寄り添い、子育てに少しでも前向きになっていただけるよう相談、助言、援助を行います。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの支援方法や経過等について、「引き継ぎシート」を作成します。小学校、中学校、高等学校、また次の段階（就労・福祉サービス等）へ円滑に移行できるよう、関係機関と連携し情報共有・引き継ぎを行います。
地域支援 ・ 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会で安心して生活できるよう、学校、医療、福祉機関等と連携し、包括的な支援体制づくりを行います。 ・公園や公共施設の利用、地域の行事参加、ボランティア受入などを積極的に行い、地域の方に障がい理解を深めてもらえるよう努めます。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・統一した支援や職員間での引き継ぎがスムーズにできるよう、毎日のミーティングや支援会議にて情報共有を行います。 ・必要に応じて支援マニュアルを作成します。 ・個々の支援力を高めるために所内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加します。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開放（オープンパラレル）、地域企業・団体との交流イベント（重機体験、クリスマス会）、夏祭りボテイメント、クッキング、座談会、きょうだい支援 など 		